



学校だより

勿来二小

平成 31年3月20日(水)

第22号(最終号)

いわき市立勿来第二小学校長

**あなたは、どうしたら、もっとすてきな勿来二小になるとおもいますか。
あなたのかんがえを書いてください。**

この『学校だより』第2号(4月11日付)でもご紹介しましたが、4月6日の始業式の折、校長から児童に「素敵な勿来二小って、どんな勿来二小でしょう？ そのためには何をどうしたらいいのでしょうか？」と話しました。年度末にあたり、このことを児童に尋ねてみたいと考え、校長がアンケートを取りました。

全学年を通して一番多かったのが、

あいさつをしっかりすれば、すてきな勿来二小になる

というものでした。この回答に、心から感心しました。逆に言えば、多くの児童が「あいさつができていない」「あいさつは大切」と自覚しているということでもあり、学校だけではなく、ご家庭でも日々ご指導いただいているからだ、感謝申し上げます。

1～3年生で多かったのは、次のようなものでした。

- ① 学校の約束をみんなで守る
- ② けんかやいたずらをしないでなかよくする
- ③ 返事をする
- ④ 先生の話聞く
- ⑤ ゴミが落ちていない、せいとん
- ⑥ きれいな学校

4～6年生で多かったのは、次のようなものでした。

- ① みんなで助け合う
- ② いじめやけんかがない
- ③ えがお
- ④ 積極的に(発言する、行動する)
- ⑤ 責任感
- ⑥ 全力で取り組む
- ⑦ 他の学年や友達どうしの交流
- ⑧ 思いやり

これをごらんになって、いかがでしょうか。

ふだんの学校や家庭での学びの中から、子ども達自身が自分なりの「素敵な勿来二小にするための方法」を見つけ出し持っていること、それは、素晴らしいことです。

⇒裏に続きます

高学年児童からは、こんな具体的で素敵な提案もありました。

- ① みんなが守れるきまりを作る。
- ② 学年や男女が関係なしに、いろいろ活動してもいいのでは？
- ③ 全校朝の会などで、校長先生だけでなく、子どもどうしても朝のあいさつをしたらいいと思います。
- ④ わたしは花壇や植物をもっと増やして全校生で育てたいです。(中略)花壇の手入れを自分たちで行うことで責任感がわきますし、今後の学校や将来にも生かすことができます。
- ⑤ お掃除の時間をもっと増やした方がいいと思いました。その理由は、15分の少ない時間でやりきることはむずかしいと思って、増やした方がよりきれいな学校になると思いました。
- ⑥ 1か月に1回、大せいそうをやるといいと思う。
- ⑦ 昼休みに、外で、サッカーやドッジボールなどの大会をやってもいいと思う。
- ⑧ 町のごみを拾いに行く行事があってもいいと思う。

大人は、とかく子ども達の「できないところ」に目がいきがちですが、子ども達は何をしたらいいか、もう知っているのです。自分の楽しみのためだけでなく、みんなのためにやりたいことがあるのです。

あとは、それができるように励ましてあげたり、できたらほめてあげたり、抽象的なことは具体的な場を作ってあげたり、一緒に考えてあげたりというような、まわりの大人の関わりが、児童の一步を踏み出すきっかけになるのではないか。学校でも、今回の内容を職員で共有して、実現できるものから実現させていきたいと思います。

これまで『学校だより』を読んでいただき、ありがとうございました。学校HPのアクセス数も、おかげさまで年度内に100,000をこえました。

1年間の保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力に、心から感謝申し上げます。次年度も、どうぞよろしく願い申し上げます。

校長 善方 威浩